

あやめレンタルサービス

あやめレンタルサービス



管理者 阪東 佑一

2000年に始まった介護保険制度は「介護が必要な人が、その人らしい生活を続けられるように支援する」ための制度ですが、その支援の1つとして福祉用具の活用が挙げられます。

あやめレンタルサービスは、福祉用具専門相談員がご利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助、取り付け、調整などを行います。福祉用具を貸与することで、ご利用者の生活の便宜を図り、その機能訓練に資するとともに、ご利用者を介護する者の負担の軽減を図る支援を行っております。

福祉用具専門相談員とは、福祉用具を利用する人に対して選び方や使い方を説明したり、アドバイスしたりする専門職です。

介護保険サービスを利用している方は、さまざまな病状を抱えています。その方たちに対して、ケアマネジャーと協力しながら最適な福祉用具を選定・提案し、自立した生活をサポートすることが役割です。

福祉用具を導入した場合、年に2回ほどモニタリングを行います。その時に、体調の変化、家族環境の変化などを敏感に察知できるかどうか。導入した福祉用具を実際に上手に利用できているか。そのような細かな変化に気づいて、状況によっては福祉用具の再選定を行う必要もあります。

ここまでで触れてきた「福祉用具」には、実際にどのようなものがあるのでしょうか？ 福祉用具は、給付制度の概要によって、原則的に貸与の対象となる種目と例外的に販売の対象となる種目に分かれます。

<貸与対象種目>

車いす(付属品含む)、特殊寝台(付属品含む)、床ずれ防止用具、体位変換器、手すり、スロープ、歩行器、歩行補助つえ、認知症老人徘徊感知器、移動用リフト(つり具部分除く)、自動排泄処理装置など

<販売対象品目>

腰掛便座、自動排泄処理装置の交換可能部、入浴補助用具(入浴用いす、浴槽用手すり、浴槽内いす、入浴台、浴室内すのこ、浴槽内すのこ、入浴用介助ベルト)、簡易浴槽、移動用リフトのつり具部分などです。

さて、あやめレンタルサービスは令和元年度の目標として①年間売上6000万円②レンタル利用者獲得数450名③法人内での介護ロボット導入支援を掲げてきました。

結果としては令和元年度の売上は約6700万円と目標を大きく上回る結果となりました。利用者数も495名で、これもまた目標に達する結果となりました。介護ロボット導入に関しては法人内に各メーカーを紹介し、勉強会等の調整の手伝いが出来たのではと実感しております。

福祉用具は介護を必要とする人の手助けとなる、または自立支援につながる道具です。

心身の機能が低下した高齢者であっても、福祉用具を適切に利用することにより、自立した日常生活を送ることができます。また、福祉用具は介護者の負担を軽減します。このように、福祉用具は介護する家庭の生活の質を改善してくれるものです。

「顧客第一」があやめレンタルサービスのスローガンです。社会医療法人共愛会の一員としてご利用者一人ひとりの暮らしを豊かにする、そのお手伝いをする事が私たちの使命だと思っております。

私達はこれからも福祉用具の知識を高め、利用者信頼され、安心を提供できる福祉用具専門相談員を一同目指して精進してまいりたいと思っております。

業績集〈令和元年度〉

令和2年12月発行

発行 社会医療法人共愛会 法人本部
〒804-0092 北九州市戸畑区小芝2丁目4番31号
電話 (093) 330-0032 FAX (093) 330-0042

制作 株式会社 朝日エージェンシー西部